各林業大学校等の概要等

<table>
<tr><td>名　称</td><td colspan="2">和歌山県農林大学校</td><td>所在地</td><td colspan="2">和歌山県西牟婁郡上富田町
平成29年4月林業研修部新設</td></tr>
<tr><td>設置・運営主体</td><td colspan="2">和歌山県</td><td>学校等の
種類</td><td colspan="2">専修学校/各種学校(その他)</td></tr>
<tr><td>教育理念・設置目的</td><td colspan="5">【林業経営コース】
和歌山県の豊かな森林資源を有効に活用し、林業及び木材産業の振興や中山間地域の活性化を図ることにより、県民が多面的な森林の恵みを持続的に享受できるようにするための林業の中核を支える人材を育成する。
【スキルアップコース】
既に林業に従事している方を対象に、個々のスキルアップを図るための研修を実施し、林業事業体等において中核となる人材を育成する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">学科・コース
（定員・期間）</td><td rowspan="2">林業経営コース
（10名・1年）</td><td colspan="3">スキルアップコース</td><td></td></tr>
<tr><td>林業技能作業士育成研修
（58日間）</td><td>林業架線技術者育成研修
（最大35日間）</td><td>高度伐木技術者育成研修
（9.5日間）</td><td></td></tr>
<tr><td>教育・研修内容
（取得可能な資格を含む。）</td><td>林業経営に必要な基本知識、経営分析、経営管理手法
林産物の生産、加工、流通に関する知識
現場作業の実践、これに必要な資格取得</td><td>森林作業のオールラウンダーを育成</td><td>架線技術の習得、林業架線作業に必要な資格取得</td><td>危険木の伐倒などを安全に実施できる技術の習得</td><td></td></tr>
<tr><td>その他学校等の特徴</td><td colspan="5">・林業経営コースでは、1年間の研修期間中に17日間のインターンシップ研修を2回実施しており、これにより、就職後のミスマッチを防いでいる。
・今年度から屋内訓練施設が稼働しており、伐木、風倒木処理やロープ高所作業の訓練を天候に左右されずに繰り返し実施できるようになっている。</td></tr>
<tr><td>卒業後の進路</td><td colspan="5">林業経営コースの修了生は、森林組合、民間の素材生産業者、民間の育林業者に就職している。</td></tr>
</table>

農学部

2020年度

学 校 案 内

林業研修部

専修学校 **和歌山県農林大学校**

教育方針

農林業は、食糧生産・木材生産はもとより環境保全など多面的機能を有しており、また地域の豊かな生活を支える主要産業の一つです。

その農林業に活力を与え、さらに新たな価値を創造するとともに、和歌山県の農林業を振興するため地域リーダーとして活躍できる意欲と能力を持った人材を育成します。

■カリキュラム編成方針

①実践力を重視した技術教育

②コミュニケーション力・プレゼーンテーション力の養成

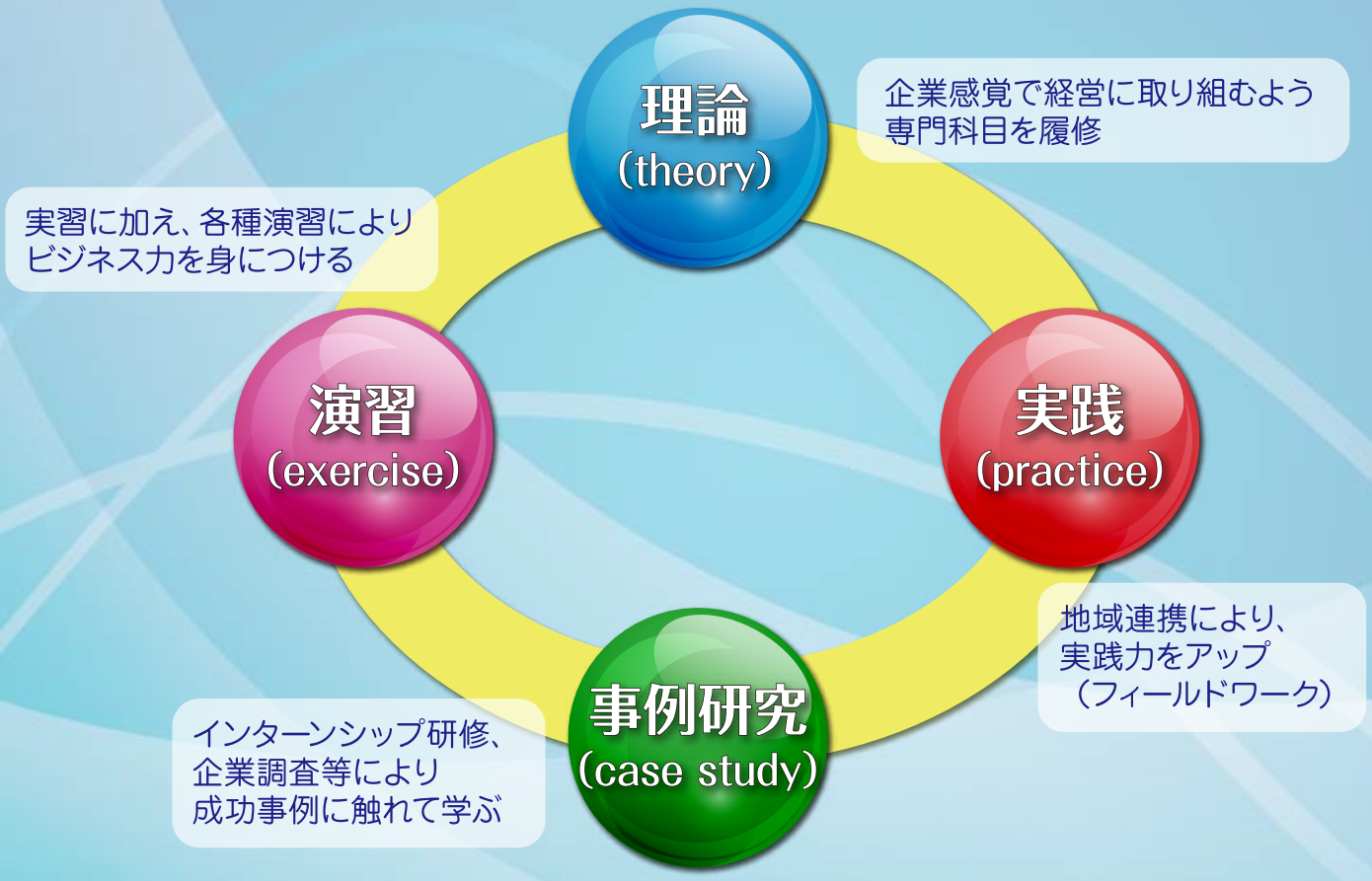
③経営管理能力の修得支援

④社会情勢の変化に対応した情報収集能力の養成

⑤インターンシップによる職業意識の醸成

⑥将来に役立つ資格取得支援

経営感覚に優れ、戦略的に考え、実践できる人材を育成



今こそチャレンジ!! 君が築く和歌山の農林業

来たれ! 農林大学校へ

■求める人材

- 大きな夢を持つ人
- 知識・技術を学ぶ意欲がある人
- チャレンジ精神のある人
- 自立性・協調性形成に努力する人

■和歌山県農林大学校の沿革

大正　４年	創立 県立農業事試験場に農業技術見習生を受入
大正１５年	練習生に改称（拡充）
昭和１３年	農業技術員養成所に改称
昭和２３年	高等農業技術講習所に改称
昭和２４年	県立農業講習所を設置
昭和４０年	県農業センターを開場 農業後継者育成を開始
昭和４６年	和歌山県農業大学校発足 農業技術者及び後継者育成に取組む
平成１８年	専修学校に移行
平成２９年	和歌山県農林大学校に改編 本学(かつらぎ町)に農学部（園芸学科、アグリビジネス学科）を設置 上富田町に林業研修部を設置

募集内容

■ 農学部（専修学校）2年制

- □ 園芸学科 ・・・・・・・・・ 定員30名
- □ アグリビジネス学科 ・・・ 定員10名

■ 林業研修部　※専修学校ではありません。

- □ 林業経営コース（1年制）・・・ 定員10名
  （新規就業希望者対象）
- □ スキルアップコース（林業従事者対象）

農学部（専修学校）

園芸学科（定員30名　2年制）

農業に必要な幅広い知識修得のため、多くの専門家を外部講師として招き、高度な授業を行います。また、実習を重視し、和歌山県内で生産されている果樹・野菜・花きの品目を中心に栽培技術の修得を図ります。充実した資格免許取得支援と進路支援により、県内における自家就農・雇用就農や農業関連企業等で活躍する農業技術者を育成します。

【専門技術の修得】

1年生の後期から選択により果樹・野菜・花きの3コースに別れ、専門的な栽培技術と知識、農業経営について学びます。

果樹コース

○ 実習品目

柑橘類、カキ、ウメ、モモ、ブドウ、ナシ、スモモ、イチジク、ブルーベリー　等

○ プロジェクト学習

・省力栽培技術の導入
・加工品開発と販売
・農大ブランドの商品づくり
・輸出柿の実証栽培

野菜コース

○ 実習品目

トマト、ミニトマト、イチゴ、エンドウ、メロン、レタス、キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、軟弱野菜、根菜類　等

○ プロジェクト学習

・新品目・新品種導入と栽培技術の確立
・伝統野菜の栽培法の検討
・高品質農産物のブランド化
・スマート農業の栽培技術の開発

花きコース

○ 実習品目

キク類、スターチス、カーネーション、カスミソウ、ストック、スイートピー、バラ、ユリ、ハボタン、千両、花壇苗　等

○ プロジェクト学習

・紀北地域におけるトルコギキョウ栽培技術の確立
・バラ新品種の導入と栽培技術の確立

インターンシップによる職業意識の醸成

在学中、2回に分けて計30日間にわたり、就農希望者は先進農家で、第一線の農業技術と経営を学ぶ農家研修を行います。また、就職希望者は目指す業種での企業研修を行い、それぞれ将来に向け研鑽を行います。

アグリビジネス学科（定員10名　2年制）

近年、農業の多様化が進む中、時代を先取りする経営者の育成が求められています。アグリビジネス学科では、経営感覚に優れ戦略的にチャレンジできる人材を育成します。また、広い視野と行動力を持ち、他産業や異業種・地域と連携可能な、将来のリーダーとなる人材育成を目指します。

【経営ノウハウの修得】

農業経営の多角化や他業種との連携によって、販売流通・農産加工をはじめとする関連産業の付加価値を取り入れたビジネスを目指せる知識や行動力の修得を図ります。

【学習内容】

○学部共通科目に加えて、企業的感覚で経営に取り組めるよう法人化、財務管理、労務管理等の専門知識の修得を目指します。

○農産物の生産から加工・販売までを体系的に学びます。

○食品科学・食品工学を学習し、商品づくりについて理論的に学びます。

○起業実践者や民間の専門講師陣によりアグリビジネスの実践について学習します。

○プロジェクト学習

学生自らが課題を設定し、実習、演習を通して、データの収集・分析を行い論文を作成することによって、理論的な行動力を身につけます。

・地域農産物を活用した農大ブランド商品の開発
・売れる商品についての分析
・観光農園・オーナー制度についての分析

インターンシップによる職業意識の醸成

在学中、2回に分けて計３０日間にわたり農業法人やスーパー、直売所、起業実践者の元で研修を行い、経営者としての知識や実践力の修得を行います。

キャンパスライフ

～年間行事～

4月

●入学式

●春のレクレーション

●校外研修（1年）

5月

●東海近畿スポーツ大会

6月
●農家体験研修（1年）

●インターンシップ研修（2年）

7月

●市場流通研修（2年）

8月

●県外研修（1年）

9月

●前期試験

10月
●試験場研修
（園芸1年）

●販売研修
（アグリ1年）

●秋のレクレーション

11月

●インターンシップ研修（2年）

12月
●意見発表会・プロジェクト発表会

●収穫感謝祭

●農大祭

1月

●金剛登山（1年）

●東海近畿ブロック
意見発表会・プロジェクト発表会

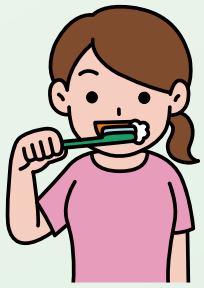
2月
●後期試験（2年）
●卒論発表会

●卒業式

3月

●後期試験（1年）

～ 1日のスケジュール ～



23:00消灯
睡眠
自由時間
（クラブ活動・入浴）
18:00
夕食
17:30
自由時間
16:35
実習・演習
昼食
13:25
12:25
午前の講義
朝食
7:30起床
9:05朝礼
自宅通学生

地域で活躍する卒業生

①卒業年　②就職先　③出身校

手平　康介くん
①H28.2卒
②ＪＡわかやま
③橋本高校

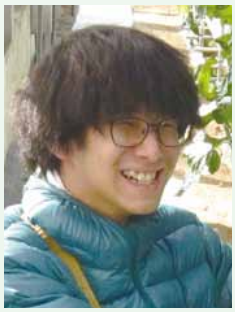
松本　怜真くん
①H26.2卒
②(株)吉本園芸
③紀北工業高校

住大　万寿郎くん
①H27.2卒
②JAわかやま
③紀北農芸高校

東　香々美さん
①H28.2卒
②（株）紀州食品
③紀北農芸高校

小川　拓巳くん
①H28.2卒
②南部高校（実習助手）
③紀北農芸高校

上野山 恭介くん（旧姓：坂口）
①H25.2卒
②ＪＡわかやま
③粉河高校



山本　優くん
①H30.2卒
②（株）山本種苗
③和歌山東高校

小倉　綾華さん
①H29.2卒
②（株）早和果樹園
③星林高校

南方　一樹くん
①H26.2卒
②自家就農
③和歌山工業高校

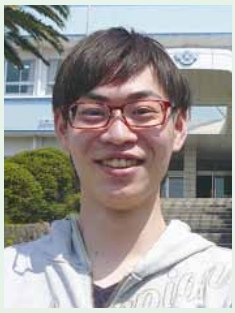
田端　利行くん
①H28.2卒
②自家就農
③和歌山工業高校

谷端　航平くん
①H28.2卒
②(株)シトラス
③青陵高校

東口　央さん
①H29.2卒
②海外研修（アメリカ）
③市立和歌山高校

古田　崇人くん
①H28.2卒
②（株）早和果樹園
③箕島高校

山城　良一くん
①H25.2卒
②(株)シトラス→自家就農
③有田中央高校



山本　裕生くん
①H29.2卒
②（株）サンライズ
③有田中央高校

鈴木　佑典くん
①H29.2卒
②自家就農
③日高高校

江村　啓くん
①H30.2卒
②（株）南紀梅干
③日高高校

西平　充幸くん
①H28.2卒
②ＪＡ紀州
③紀央館高校

清原　夏樹くん
①H29.2卒
②ＪＡ紀州
③南部高校

玉置　あぐりさん
①H30.2卒
②（株）クラギ
③南部高校龍神分校

中山　将誓くん
①H26.2卒
②ＪＡ紀南
③田辺高校

関本　成晃くん
①H25.2卒
②(株)南紀梅干→自家就農
③神島高校

榎本　匡栞さん
①H29.2卒
②（有）農園紀の国
③熊野高校

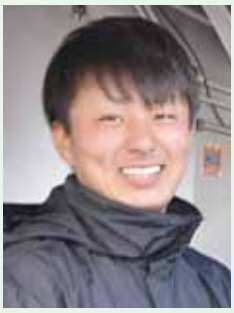
小杉　里緒さん
①H30.2卒
②JA紀州
③熊野高校

若林　昭仁くん
①H27.2卒
②和歌山県農業協同組合連合会
③粉河高校

川島　菜瑠くん
①H29.2卒
②JA紀北かわかみ
③粉河高校

土橋　弘誠くん
①H28.2卒
②海外研修（アメリカ）→自家就農
③海南高校

和佐　望くん
①H29.2卒
②（株）近畿クボタ
③海南高校美里分校



堀　真人くん
①H29.2卒
②自家就農
③紀央館高校

杖尻　和也くん
①H25.2卒
②西村農園→自家就農
③南部高校

折戸　律華さん
①H30.2卒
②（株）プラス
③熊野高校

岩橋　直路くん
①H30.2卒
②JAわかやま
③西日本短期大学

卒業生からのメッセージ

岩橋　直路（平成30年卒業）

私の家は兼業農家ですが、農林大学校に入るまでは、農業の知識や技術が全く無い状態でした。農林大学校での2年という短い期間の中で、実践的な技術を学び、農家研修や試験場研修など数々の研修を行い、また多くの資格を取得することができました。

私は卒業後、ＪＡわかやまで働きます。農大で学んだことを活かし、農業を通じて地域のみなさんのお役に立てるように精一杯がんばっていきたいと思います。

玉置　あぐり（平成30年卒業）

私の家は、兼業農家で畜産と水田と自家用野菜を育てる畑があり、農林大に入学する前から畑の手伝いをする機会がたくさんありました。畑の手伝いをするうちに作物の栽培に興味を持つようになり、農業について一から実践的に学びたいと思い、農林大に入学しました。

農林大では実習が多く、実際に体を動かして学ぶことが多いので、座学だけでは学びきれないところもたくさん学ぶことができました。

卒業後は、２年間学んできたことや、経験してきたことを活かしつつ、精一杯頑張っていきたいと思います。

山本　優（平成30年卒業）

私の実家は非農家で、高校も普通科に通っていたため、農林大に入学するまではほとんど農業にふれたことがありませんでした。そんな私でも、農林大での2年間、楽しく農業について学ぶことができました。

農林大の先輩や、後輩、同級生は仲が良く充実した学校生活を送ることができました。寮生活は、実家では自分でしないことを自分でしないといけないため、最初は大変でしたが、毎日やっているうちにだんだん慣れてきてそんなに苦ではなくなりました。

卒業後は、山本種苗に就職します。農家のみなさんのお役に立てるよう農林大で学んだことを活かして頑張っていきます。

小杉　里緒（平成30年卒業）

私の家は非農家ですが、高校の時に農業クラブに入り農業の楽しさ、おもしろさを知りました。そして、将来は農業関係の仕事に就きたいと考えるようになり、そのためには、もっと農業について知らなければならないと思い、農林大学校に入学しました。

農林大学校では、教科書を見る時間よりも実習の時間が多く、実際に自らの手で播種から採花までできることができ、楽しみながら勉強することができました。

卒業後は、2年間学んだことを活かし、地域の農業の発展に頑張っていきたいです。

江村　啓（平成30年卒業）

私の家は、兼業農家です。農業に興味はあったのですが、農業についての知識や技術がほとんど無かったため、もっと農業について深く知るために農林大学校へ入学しました。

家が柑橘類を作っていたので果樹コースを専攻しましたが、柑橘以外の落葉果樹についても学び、また座学では農業の現状を知ることができ、新鮮でした。

卒業後は、梅の加工を行っている会社に就職しますが、農林大学校で学んだことや、寮生活や学校生活で多くの友人や先生方との交流の経験を活かして頑張ります。

現役農大生(農学部)にインタビュー

農大の好きなところ 入学して良かったこと

・ずばり実習です！！しんどい時もあるけど体を動かして農作業するのは、他の学校ではできない魅力!!
・仲間たちと育てた農作物を収穫して和農市(農林大の直売会)で販売し、お客さんから喜んでもらえるところ。
・友達と仲良く実習ができるところ。
・楽しく技術を学べるところ。
・自分たちで作った農産物を和農市等で販売することで、お客さんに買ってもらえるうれしさを感じられるところ。
・栽培知識を身につけられるところ。
・先生や友達が優しいところ。
・質問すれば先生方がしっかりと答えてくれるところ。
・自然な環境。
・実習があるところ。農家になりたいので、農業に関して学べること。
・専門的な技術が真剣に学べること。
・自分のやっていきたい方針ができたこと。
・いろんな友人に出会えること。
・研修やインターンシップで学べること。
・農業のイメージが変わったこと。
・農業のことを真剣に学べるところ。
・野菜・花・果樹について実習を通じて深く知ることができること。
・先生や後輩たちと一緒に実習できること。
・寮生活。はじめは不安でしたが、先輩や後輩とワイワイ過ごすのは楽しい!!

高校生にひとこと

・ここに来たらきっと人生が変わると思う。今まで見えなかった世界や価値観に出会えるから、君も最初の一歩を踏み出してみよう!!
・本気で農業をやりたいならくるべきだよ。
・力仕事もあって大変なことも多いですが、自分の手で作物という命を育てる仕事であり、たくさんのことを学べると思います。
・農林大で実習をすることで農業のイメージが変わるので、一度農林大に来てみてください。
・農業のことを集中して学ぶのなら、この学校を選んだ方が良い。
・たくさんの資格が取れるし、技術を学びたい方はぜひ農林大へ。
・農業をしてみたい、ふれてみたいと思う人はぜひ来て下さい。
・授業や実習はしんどいけれど、良い経験になるよ。
・和歌山県で唯一農業を専門に学べるところなのでぜひ来て下さい。

農大(農学部)生活Q&A

Q 通学の手段は、どういった方法がありますか？

A 農学部は、ＪＲ和歌山線中飯降駅から徒歩10分です。許可を受ければ、自家用車等での通学も可能です。

Q 自宅が遠いのですが、宿泊できるところはありますか？

A 男子寮（2人部屋）、女子寮（1人部屋）があり、ベッドと机が完備されています。部屋には、テレビ及びインターネットの回線があります。また、食堂があり、寮生は食堂で3食食べます（授業のある日のみ）。

Q 農業系の高等学校出身でなくても大丈夫ですか？

A 基礎から学んでいきますので大丈夫です。半分以上の先輩が農業系の学科以外の高校の出身です。
過去５年間の入学生の出身高校は下記のとおりです。
紀北農芸、有田中央、南部、熊野、和歌山工業、粉河、海南美里分校、紀央館、市立和歌山、海南大成校舎、箕島、貴志川、星林、日高、橋本、紀北工業、和歌山北西校舎、和歌山、和歌山東、海南、南部龍神分校、田辺、田辺工業、串本、串本古座、新翔、神島、耐久、きのくに青雲、その他県外の高校、専門学校、大学など

Q 在学中にかかる経費はどのくらいですか？

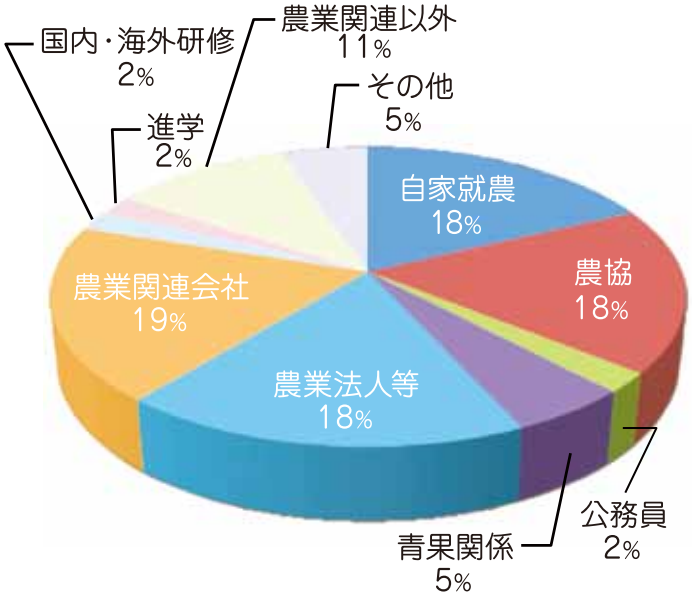
A 授業料は、年間120,100円です。その他に学級費、育友会費、給食費、旅行積み立てなど2年間で約105万円が必要です。また入寮する場合は、食費、光熱費など2年間で約45万円必要です（金額は改訂する場合があります）。

Q 在校中の支援制度について教えて下さい。

A 日本学生支援機構の奨学金や農業次世代人材投資資金（準備型）の活用も可能です（要件、審査があります）。

卒業後の進路（直近5年間）

H30.3現在



農学部で取得できる資格等

☆卒業生は、人事院規則上短大卒業の資格を有する者として取り扱われます。
☆卒業生の４年生大学への編入試験の受験が可能です。（但し、編入制度を有する大学のみ）
☆卒業生に「専門士」の称号が与えられます。
☆公益社団法人国際農業者交流協会などが行う、海外留学研修に応募する機会が与えられます。
☆在学中に下記の資格・免許が取得可能です。

①大型特殊自動車（農耕用）
②毒物劇物取扱者
③危険物取扱者
④小型車両系建設機械（整地等・3t未満）
⑤フォークリフト運転技能
⑥狩猟免許(わな猟)
⑦園芸技術員資格（和歌山県ＪＡグループ）
⑧日本農業技術検定２級
⑨刈払機(草刈機)安全衛生教育
⑩フラワー装飾3級（園芸学科花きコース）
⑪農業簿記検定3級(アグリビジネス学科)

林業研修部

本県の豊かな森林資源を有効に活用し、林業及び木材産業の振興や中山間地域の活性化を図ることにより、県民が多面的な森林の恵みを持続的に享受できるようにするため林業研修部において有能な人材を継続的に育成します。

■林業経営コース（定員10名、1年制）

林業への新規就業希望者等を対象に森林・林業経営学の基礎を身につけ将来林業経営を担える人材、実践的な技術や知識を身につけて第一線で活躍できる人材、多面的でかつ幅広い視野を持った人材の育成を目指します。

経営知識、専門技術の修得

【研修内容】

○林業経営に必要な基本知識に加えて、経営分析、経営管理手法の修得を目指します。
○林産物の生産から加工・流通までを体系的に学習します。
○座学は林業経営者や民間の専門講師陣を中心に、また実技は現場経験豊富な講師陣により、安全を最優先した中でも効率的な現場作業の実践について学習します。
○現場の作業に必要な資格取得を目指します。

インターンシップによる職業意識の醸成

林業事業体の下で第一線の森林・林業技術と経営感覚を学ぶための研修を44日間行い、将来に向け知識や実践力の修得を行います。

林業経営コースで取得できる資格等

☆林業経営コースで下記の資格が取得可能です。

①普通救命
②刈払機（草刈機）安全衛生教育
③荷役運搬機械等によるはい作業従事者安全教育
④伐木等（チェーンソー）の業務に係る特別教育
⑤クレーン（5t未満）取扱い業務等特別教育
⑥～⑧高性能林業機械（伐木・走行集材・簡易架線）の運転業務に係る特別教育
⑨機械集材装置の運転業務に係る特別教育
⑩玉掛け技能
⑪小型移動式クレーン運転技能
⑫車両系建設機械（整地等）運転技能
⑬車両系建設機械（解体用）運転技能
⑭不整地運搬車運転技能
⑮フォークリフト運転技能

■スキルアップコース

既に林業に従事している方を対象に、個々のスキルアップを図るための研修を実施し、林業事業体等において中核となる人材を育成します。

林業架線技術者育成研修

○和歌山県ならではの架線技術の修得を目指します。
○林業架線作業に必要となる資格取得を目指します。

林業技能作業士育成研修

○林業事業体の中核となるオールラウンダーとしての技術の修得を目指します。
○現場の作業全般に必要となる資格取得を目指します。

原木選別技術者育成研修

○山から生産された原木を、消費者ニーズに合わせて選別し、利益を最大化できる技術を習得します。

高度伐木技術者育成研修

○危険木の伐倒などを安全に実施できる技術を習得します。

スキルアップコースで取得できる資格等

林業架線技術者育成研修

・林業経営コースで取得できる資格の内⑤⑥⑦⑧⑨
・林業架線作業主任者免許の講習修了資格

林業技能作業士育成研修

・林業経営コースで取得できる全ての資格

高度伐木技術者育成研修

・ロープ高所作業特別教育

林業研修部の疑問・質問にお答えします！

Q 自宅が遠いのですが、宿泊できるところはありますか？食事は？

A スキルアップコースの研修生を対象とした短期の宿泊施設はありますが、林業経営コースの研修生については、近隣の賃貸マンション等へ入居していただくことになります。林業研修部での食事の提供はありません。

Q 研修費用は、いくらですか？

A 林業経営コースについては年間120,100円です。その他の費用については原則無料ですが、傷害保険への加入、現場実習に必要なユニフォーム代金、宿泊を伴う研修での宿泊料等の実費10万円程度が必要となります。
スキルアップコースは、受講料無料となっています。

Q 林業研修部までの交通手段は、どんな方法がありますか？

A 林業研修部は、ＪＲ紀勢本線朝来駅から徒歩25分です。自家用車や単車で通う事もできます。

Q 研修終了後は、どのような方面へ進むことができますか？

A 林業経営コースについては、森林組合や林業事業体への就職が可能です。

Q 研修受講に関して、支援制度などはありますか？

A 林業経営コースについては、緑の青年就業準備給付金がありますので相談してください。

林業経営コース修了生からのメッセージ

①林業経営コース受講のきっかけは？
②林業経営コースでどんなことを学び、研修修了後はどんな道へ進むの？
③受講を考えている方へメッセージ

佐野　剛気

①　和歌山県での林業就業支援講習を受講して林業に携わりたいと思ったことと元々自然に興味があり和歌山の自然が気に入ったことがきっかけです。

②　座学や実習があり、現地見学、インターンシップなどの研修を終え今は造林・育林を主体とした会社に就職し現場で汗を流し頑張っています。

③　座学でやった資料などを後で読み返すとまた新たな発見ができますよ。授業でやったこと以外にも自分で本を読んだりすると楽しくなってくると思います。もちろん実習やインターンシップも刺激が多く、考えさせられることも多いので勉強になりますよ。ぜひこの1年で苦しみや楽しさを経験して、充実した日を過ごして下さい。そして、会ったときは何でもいいのでお話出来れば嬉しいです（笑）

高田　幸安

①　山村で暮らしながら、林業についての知識がなかったので、林業を詳しく学びたいと思いました。

②　生命の最初に関わる、そして山づくりの元になる植林実習での感動が記憶に残っています。現在は地元で共有林の管理や苗木生産に関わる仕事に従事しています。

③　木材生産を含む物質生産機能のみならず森林の持つ多面的機能（生物多様性保全、地球環境保全、水源涵養、保健、文化、等々）や、AI（人工知能）の活用等、林業の未来についても勉強してください。

長峯　雅志

①　20代の頃からのんびりとした田舎暮らしが目標で、田舎で生計を立てるための手段として林業を選びました。

②　育林から皆伐まで技術的な全般と、経営者になるための知識を学びました。修了後は森林組合に就職が決まっています。将来的には独立し、週休3日の仕事を目標にしています。

③　農林大で得られるものは知識と技術はもちろんですが、たくさんの林業関係者との出会いがここにはあります。特に若い人には広く世界を見る目を養うために、農林大で学んでもらいたいと思います。

佐藤　英慧

①　和歌山県が発行している情報誌を見てこのコースが新設されたことを知り、女性でも林業の現場で活躍している人がいるのだという事で、応募してみたのがきっかけです。

②　まず林業とはどこからどこまでを林業というのか、林業の仕事のために必要な重機等の資格講習、2ヶ月のインターンシップなど、ありとあらゆる林業に関する事を1年で学びます。研修終了後は4月から県内の清水森林組合に事務兼作業員として就職します。

③　林業という仕事自体にイメージが湧かない人もいるかもしれません。私も以前はそうでした。そしてこの1年を通して林業はただの仕事というには、これまで私がやってきた仕事に比べて大きく性質の違うものだと思いました。暮らしに大きく関係してくる部分が多い仕事だと思います。林業はまだまだ成長過程にある産業で、他業種から林業に興味を持ってくれる人が増えればうれしいです。

1日の研修スケジュール

9:00 12:10 16:10

朝礼	午前の授業	昼休み	午後の授業	終礼

9:10 13:10 16:20

コミュニケーション術

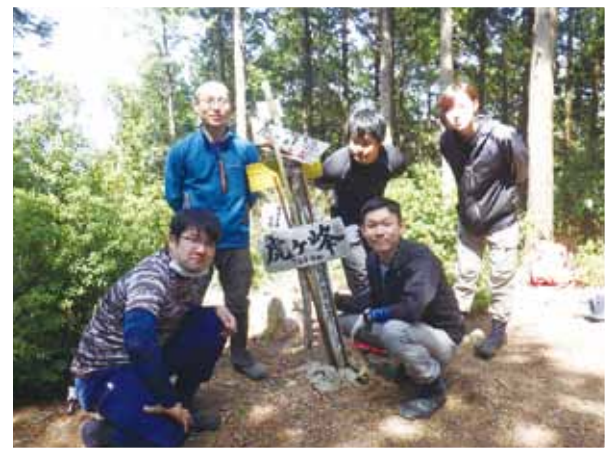
樹木の同定

作業道の開設

森林調査

ソーチェーンの目立て

森林評価



山登り

農学部

本館

果樹現場教室棟

食堂

男子寮

女子寮

〒649-7112　和歌山県伊都郡かつらぎ町中飯降422
TEL:0736-22-2203　FAX:0736-22-7402
E-mail : wa_noudai@ag-wakayama.ac.jp

◆JR和歌山線中飯降駅下車　徒歩10分
◆タクシー利用の場合はJR和歌山線妙寺駅下車

林業研修部

研修館

実習舎

屋内訓練施設

小教室

〒649-2103　和歌山県西牟婁郡上富田町生馬1504-1
TEL : 0739-47-4141　FAX : 0739-47-4150
E-mail : wa.rinken4141@gmail.com

◆JR紀勢本線朝来駅下車　徒歩25分
◆紀勢自動車道上富田インターより車で10分

専修学校　和歌山県農林大学校　URL : http://www.ag-wakayama.ac.jp

2020年度 研修生募集！

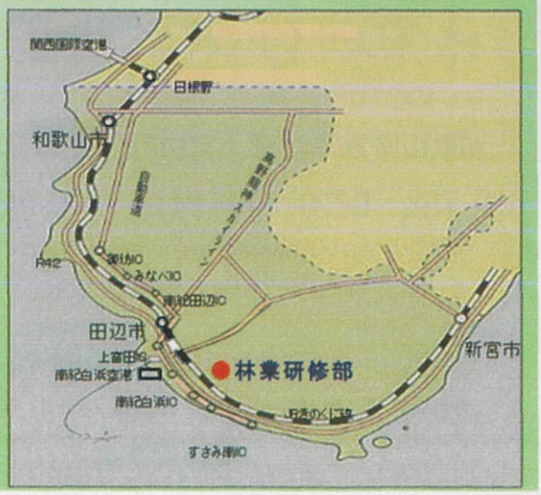
和歌山県農林大学校
林業研修部 林業経営コース

（林業就業希望者等対象、定員10名、1年制）

農林業に活力を与え、新たな価値を創造する

和歌山県農林大学校

ホームページアドレス
http://www.ag-wakayama.ac.jp/
facebookアドレス
https://www.facebook.com/wakayama.ftd
E-mailアドレス
wa.rinken4141@gmail.com



2020年度林業研修部林業経営コース
選考試験の概要

	選考試験	追加選考試験（一次）	追加選考試験（二次）
試験日	２０１９年１１月９日(土) 午前１０時～	２０２０年２月８日(土) 午前１０時～	２０２０年３月１４日(土) 午前１０時～
試験場所	和歌山県農林大学校林業研修部		
試験科目	１　筆記試験（小論文） ２　面接試験		
合格発表	２０１９年１１月１３日(水) 午前１０時	２０２０年２月１２日(水) 午前１０時	２０２０年３月１８日(水) 午前１０時
	本校及び林業研修部玄関前に掲示するとともに、郵送にて本人に通知します。 また、同時にインターネット上の農林大学校ＨＰにも掲示します。		
願書受付期間	２０１９年１０月１５日(火) ～ ２０１９年１０月２９日(火) 必着	２０２０年１月１４日(火) ～ ２０２０年１月２８日(火) 必着	２０２０年２月２１日(金) ～ ２０２０年３月９日(月) 必着
	①選考試験で定員を満たした場合は、追加選考試験は実施しません。 ②追加選考試験（一次）までに定員を満たした場合は、追加選考試験（二次）は実施しません。		
受付場所及び時間	和歌山県農林大学校林業研修部（住所は下記参照） 午前9時～午後5時まで（土日、祝日は除く）		
提出書類	ア　受講願書〈指定用紙　別紙１〉 イ　最終学校の卒業証明書、または卒業見込み証明書 ウ　最終学校の調査書又は成績証明書 エ　健康診断書〈本校指定用紙　別紙２〉 オ　履歴書（市販のもの） カ　受験票及び合否通知書送付用の３９２円分の切手２枚を同封のこと 注１　ウについては、最終学校が高等学校等で卒業後５年以上経過している場合は、単位修得証明書で代用可。 注２　２０２０年３月に高等学校等を卒業または修了見込みの者は、イからエについて高等学校等の調査書で代用可、オについては不要です。		
受験資格	別添　２０２０年度和歌山県農林大学校林業研修部林業経営コース研修生募集要項の以下の欄を参照してください。		
	「要項　４の（１）受験資格」を参照してください。		

林業研修部に関する案内

〒649-2103

和歌山県 西牟婁郡上富田町生馬　1504-1

TEL：0739-47-4141　　FAX：0739-47-4150

URL：http://www.ag-wakayama.ac.jp

E-mail：wa.rinken4141@gmail.con

- ＪＲ紀勢線朝来駅下車　タクシー8分、徒歩約25分
- 紀勢自動車道上富田インターより車で10分

和歌山県農林大学校
林業研修部
夏のオープンキャンパス2019
8月7日（水）10時～15時

イベント

農林大学校で実際に行っている実習の一部を体験していただきます！！

- 林業基礎知識講座
- 大型林業機械の運転体験
- 伐木実習装置体験
- ドローンによる作業の実演
- 林業試験場成果発表
- その他展示物多数！！

入学のご相談は個別に対応いたします！

開催案内

場　所：和歌山県農林大学校林業研修部
（西牟婁郡上富田町生馬1504 -1）

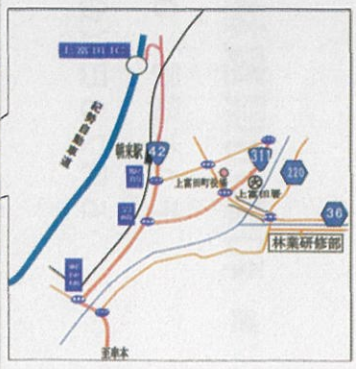
定　員：20名

参加費：無料

参加申し込み：
参加の申し込みは別紙に記入の上FAXにて送信、もしくはメールに別紙の必要事項を記入のうえ送信してください。

FAX：0739 - 47 – 4150
Mail：wa.rinken4141@gmail.com

その他お問い合わせがございましたらお気軽に農林大学校林業研修部までご連絡ください
担当　中谷　TEL：0739 – 47 - 4141



申込用紙は裏面にございます

〔一般用〕

■ 和歌山県農林大学校林業研修部オープンキャンパス参加申し込み用紙

ＦＡＸ番号　０７３９－４７－４１５０

６月２８日（金）までに上記ＦＡＸ番号へ送信お願いします。

宛先：和歌山県農林大学校　林業研修部　中谷

氏　　名	フリガナ	性別	住　　所	電話番号	送迎バスの希望
		男・女			有[田辺駅・白浜駅] 無
		男・女			有[田辺駅・白浜駅] 無
		男・女			有[田辺駅・白浜駅] 無
		男・女			有[田辺駅・白浜駅] 無
		男・女			有[田辺駅・白浜駅] 無
		男・女			有[田辺駅・白浜駅] 無

※ご希望の方はＪＲ田辺駅、ＪＲ白浜駅からマイクロバス等にて送迎します。

2019年度
和歌山県農林大学校林業研修部
公開講座のご案内

林業や森林を知っていますか？

林業や森林と言われてもイメージしにくいものだと思います。和歌山県農林大学校林業研修部では、皆さんによりいっそう森林や林業を知っていただくために公開講座を開催しています。

講座案内

第1回　森林・樹木講座
テーマ：紀南地方の魅力的な広葉樹林
日　時：6月 8日（土）
講　師：県立自然博物館　岡田 和久
内　容：紀南地域に広がる常緑広葉樹林。そこに生育する広葉樹の魅力と紀南地域の森林についてご紹介します。

第2回　特用林産物栽培・活用講座
テーマ：活かそう木の国！山のめぐみ
日　時：8月24日（土）
講　師：県林業試験場特用林産部長　坂口 和昭
内　容：キノコや山菜、木炭といった山のめぐみを特用林産物といいます。木材以外の山のめぐみに焦点をあててご紹介します。

第3回　気象・災害講座（予定）
テーマ：和歌山の災害と防災
日　時：11月中旬～12月
講　師：未定
内　容：未定

第4回　森林整備・林業講座
テーマ：林業のこれから～最新の林業機械～
日　時：2月1日（土）
講　師：京都大フィールド科学教育研究センター
准教授　長谷川 尚史
内　容：チェーンソー1台のイメージはもう古い!?
現在の林業は高度化し、専用の重機も存在します。さらにこれからどのように発展していくのかを実物を交えご紹介します。

第3回は決定次第広報いたします。
講座の内容は変更になることがありますご了承ください。

開催案内

開催場所：農林大学校林業研修部
（西牟婁郡上富田町生馬1504 -1）

募集定員：各講座 45名（先着順）

参加費：無料

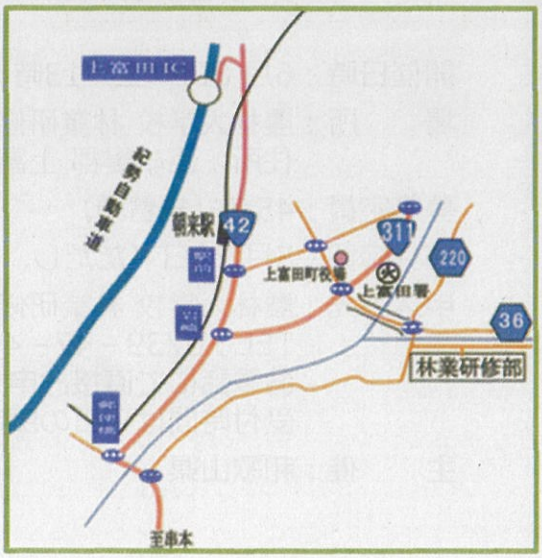
参加申し込み：
参加の申し込みは下記の電話番号に直接お申し込みください。
（平日 9時～17時30分）

農林大学校林業研修部
TEL 0739 - 47 – 4141

応募締切：各講座開催日の10日前まで
（ただし、定員に達し次第締め切り）

その他お問い合わせがございましたらお気軽に農林大学校林業研修部までご連絡ください

主　催：和歌山県



2019年度　第１回農林大学校林業研修部公開講座

森林・樹木講座

紀南地方の魅力的な広葉樹林

講師：県立自然博物館　岡田 和久

【講座の内容】

和歌山県は森の国と言われるように深い森に覆われています。
しかし、その6割以上はスギ・ヒノキの人工林。わずかに残された天然林もその大部分は私たちの暮らしになくてはならないいわゆる「里山」と呼ばれる広葉樹林です。
かつて、人間は里山の樹木を様々な用途に活用する知恵を持っていました。
和歌山県の広葉樹林といくつかの広葉樹を活用した古人の知恵についてご紹介します。

ウバメガシの大木

ひき岩の広葉樹郡落

江須崎暖地性植物群落

開催日時：6月 8日（土）13時～15時まで（受付開始12時40分）

場　　所：農林大学校 林業研修部 大教室
住所：西牟婁郡 上富田町 生馬1504－1

募集定員：45名（先着順）

応募締切：5月 30日（ただし、定員に達した場合募集を締め切ります）

申込み先：農林大学校 林業研修部
TEL：0739－47－4141
お電話にて直接お申し込みください。
受付時間は平日の9時～17時30分です。

主　　催：和歌山県

和歌山県農林大学校林業研修部　屋内訓練施設

天候に左右されることなく、林業技術を繰り返し練習できる屋内訓練施設です。

施設内には、伐倒訓練施設、風倒木処理練習施設、ロープ高所作業の訓練施設を装備しています。

①伐倒練習施設

丸太を立てて固定し、受け口切り、追い口切りなど伐倒の練習を行います。足場傾斜を 30 °まで傾けることができ、丸太も自由に傾けて固定できます。足場の傾斜角と土のうによって、リアルに現場を再現できます。

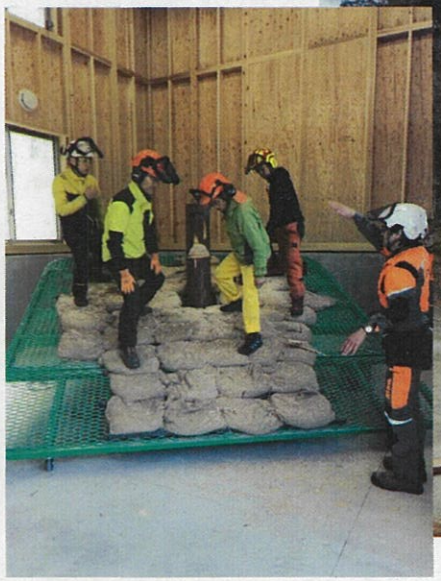
②風倒木処理練習施設

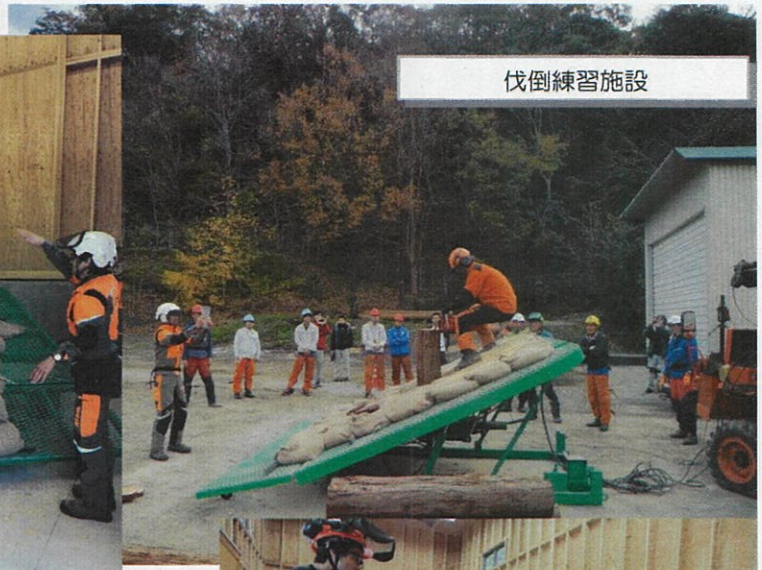
風倒木被害地で発生する曲げ力のかかった状態の樹木を切断する際には、反発力で樹木に激突されたり、チェーンソーが挟まれたり非常に危険な作業になります。このような危険な状態を再現でき、安全に処理する方法を練習します。曲げ力は上下左右いずれからも加圧できます。

③ロープ高所作業の練習施設

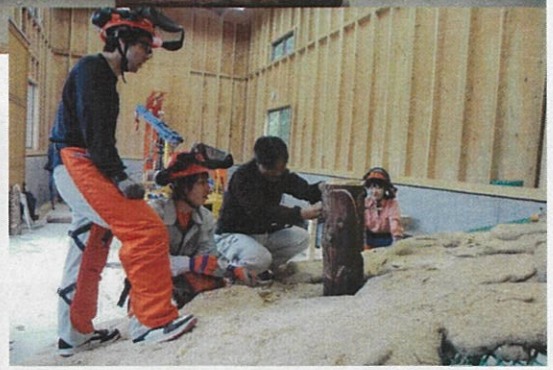
建物の梁に訓練用のアンカーを設置しており、ロープクライミングの練習を行えます。高さは 5.5m、6 人が同時に訓練可能。

ロープ高所作業の練習施設





伐倒練習施設



風倒木処理練習施設

【利用料金】

・風倒木処理練習施設　510 円/時間

・伐倒練習施設　840 円/時間